

## メタデータエディタの概要

Alma メタデータエディターは、レコード、テンプレート、ルールを管理するための作業スペースです

メタデータエディターは、Alma の主要な目録作成ツールです

このセッションでは、メタデータエディターにアクセスする方法とそれを構成している様々なコンポーネントについて学習します

Alma のどこにいても、すぐにメタデータエディターを表示できます

Alma メニューのアイコンを使用すれば可能です

現在、メインパネルで編集するためにレコードを開いた状態でメタデータエディターを使用しています

様々なフィールドとサブフィールドが表示されています

メタデータエディターアイコンを使用して、メタデータエディターを非表示にできます

これにより Alma で表示した最後の画面に戻ります

メタデータエディターは常にオンになっています

そのため、Alma の他のエリアで作業を進めることができ、エディターに戻ればいつでも開いていたレコードの作業を再開できます

メタデータエディターにアクセスする別の方法は、レコードを検索し [レコードの編集] をクリックする方法です

これにより、選択したレコードをメインパネルで編集できる状態でメタデータエディターが開きます

エディタは、レコード、テンプレート、ルールの 3 つのモジュールで構成されています

このメニューでモジュールを切り替えることができます

レコードとは、書誌レコード、典拠レコードなどを指します

レコードテンプレートを使用して、事前に定義されたフィールドを持つ新しいレコードを作成するために使用され 目録作成を迅速に実行できます

例えば、印刷物の書籍や音楽アルバムのテンプレートを作成できます

テンプレートについては、専用のセッションで学習します

正規化ルールを使用すると、選択した基準に従ってレコードを拡張できます

例えば、フィールドを編集/削除できます

正規化ルールはメタデータエディターで 特定のプログラミング構文を使用して設定できます

正規化ルールの詳細については、マニュアルをご覧ください

これら 3 つのモジュールにはそれぞれ対応するメニューがあり トップメニューには編集オプションがあります

レコードで作業する時、様々なレコードタイプに切り替えることができます

Dublin Core、所蔵、MARC21 などです

ナビゲーションパネルでは、先ほど選択したレコードタイプから 現在作業しているレコードを表示しレコード間を移動することができます

ナビゲーションパネルを最小化/最大化したり ナビゲーションパネルを固定して、レコードを編集するときを開いたままにすることができます

レコードをフィルタリングし 機関、ネットワーク、Alma コミュニティレコードのみを表示することができます

また、エントリー時間やアルファベット順に並べ替えることもできます

追加のレコードで作業する必要がある場合は、それらをメタデータエディターにプッシュすることができ ナビゲーションパネルにも表示されます

これによりそのレコードを Alma で検索できます

目的のレコードについて、[メタデータエディターにプッシュ]をクリックします

複数のレコードを選択した場合は [選択したものをメタデータエディターにプッシュ]をクリックします

メタデータエディターを開くと プッシュされたレコードがナビゲーションパネルに表示されません

複数のレコードをメタデータエディターに読み込む方法としてレコードのセットを目録化する方法があります

[管理]>[セットの管理]に移動します

希望するタイトルのセットを見つけます

[オプション]>[目録セット]をクリックします

これにより、ナビゲーションパネルに対象のレコードを含むメタデータエディターが開きます  
セットの表示を最小化/最大化できます

そして、個々のレコードに取り組みましょう 編集用にレコードを開くには、レコードをクリックします

レコードがメインパネルに表示され、編集できるようになりました 分割モードを使用して、一度に2つのレコードを開くことができます

ナビゲーションパネルで、分割モードアイコンをクリックします

追加のパネルが右側に開きます

2つのパネルを切り替えて、どちらをアクティブにするかを選択できます

右パネルが選択されている状態で、ナビゲーションパネルのレコードをクリックすると そのレコードが右パネルに表示されます

分割モードでは、目録のコピー 典拠レコードの表示、正規化ルールのテスト、検索などの際に、オリジナルのレコードを開いたままにすることができます

[検索と閲覧]メニューから検索できます

検索リソースを使用すると、機関で設定されているリポジトリを検索することができます

選択した条件に従って詳細検索を実行できます

全画面編集に戻るには、右パネルを閉じるだけです

以上が、メタデータエディターの様々なコンポーネントの簡単な紹介です

次のセッションでは、レコードとテンプレートの操作方法についてご紹介します

以上になります ありがとうございます